

高 下関北高校だより

(令和3年10月26日発行)

山口県立下関北高等学校

〒759-5511 下関市豊北町滝部 1003 番地
TEL(083)782-0023 FAX(083)782-0183

高校生活の様子は下関北高校HPでも紹介しています。
<http://www.shimonosekikita-h.ysn21.jp>

■ 全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が開催されました。

令和3年8月6日～8日の3日間、新潟県の糸魚川市民総合体育館で、令和3年度全国高等学校総合体育大会相撲競技大会が開催されました。本大会での上位入賞を目指し連日の厳しい稽古を乗り越えてきましたが、団体戦では一昨年の優勝校とあたるなど強豪校との対戦が続き予選敗退となってしまいました。しかし、個人戦においては、3年生の山口颯斗君が予選通過し、決勝トーナメント3回戦のベスト32まで勝ち進み大健闘しました。



■ 令和3年度学校説明会を開催しました。

8月20日(金)に、令和3年度の学校説明会を開催しました。8月中旬から続いた大雨がやっと収まり、例年よりは涼しい中、新型コロナウイルス感染症対策を行って開催しました。中学生52名、保護者25名、中学校教員4名の計81名の方に参加していただきました。

体育館で行った全体会では、校長の挨拶の後、3年生の藤中慧吾さん、中原楓子さん、2年生の山田愛弓さん、の3人が、パワーポイントを使用して、本校の教育の特徴や進路学習、部活動の様子、文化祭や野球応援などの学校行事について、文化祭の様子の動画や地域探究の授業で作成した学校紹介動画などを交えながら息の合ったプレゼンテーションを行い、最後に教頭から高校入試について説明をしました。

全体会の後は、国語、数学、英語、家庭、商業の5つのグループに分かれて高校の授業を体験してもらいました。国語では、俳句をテーマに、季語や季節当てクイズや高校生の俳句対決の審査を行う授業を、数学では、「ゲーム制作に使われている高校数学」をテーマに授業を行いました。中学で学ぶ計算、座標の復習、高校で学ぶ虚数と極座標の紹介、さらに先のオイラー角、クォーターニオンについてゲームの動画を通して触れてもらうことで数学を学ぶ意味を再定義してもらえたのではないかと思います。また、英語ではAIスピーカーを使用しての英会話、映画を使ったリスニングの授業、家庭では、ユニバーサルデザインについて学び、お題に沿ったオリジナルのピクトグラムを考える授業、商業では、パソコンソフトのExcelの関数機能を使って、表の中の数の合計や平均を求める授業を行いました。それぞれ30分間の短い授業でしたが、高校の授業のほんの一部に触れてもらうことで、興味や関心を高めてもらえたのではないかと思います。最後に希望者が部活動見学を行い学校説明会は終了しました。

なお、本日の学校説明会に参加できなかった中学生で、下関北高校の様子を知りたい人には個別の説明も可能ですので、遠慮なく学校にお問い合わせください。



■ 生徒会役員認証式・引継式を実施しました。

8月26日(木)に、生徒会役員認証式・引継式を行い、いよいよ新生徒会が始動しました。認証式では、今年度後期の生徒会役員に決まった11名を代表して、生徒会長の松野健伸さんに校長から任命書が授与されました。そして、校長から旧役員には「コロナ禍の中、気を遣う場面も多く、様々な苦労や困難もあったと思うが、互いに励まし合いながら文化祭等の学校行事を成功に導いてくれた。ご苦労様でした。」とねぎらいの言葉が述べられました。また、新役員には「不安も大きいと思うが、まわりの助けも借りながら、互いに力を合わせてがんばってください。」と激励の言葉が述べられました。

その後の継承式では、旧生徒会役員を代表して藤中慧吾生徒会長から、新生徒会への期待の言葉と、この1年間の在校生の協力に対する感謝の言葉が述べられ、会場から惜しみない拍手が送られました。これを受け、新生徒会の松野健伸生徒会長から、全校生徒の皆さんと協力して、学校を盛り上げていくと決意が述べられました。



令和3年度「体育祭」を開催しました。

雨天順延となりましたが9月5日(日)、さわやかな秋空のもと、令和3年度体育祭を開催しました。今年のスローガンは「乾坤一擲～運命を賭けた戦い～」で、一生懸命に頑張る姿、美しく輝く姿を保護者の皆様に見せたいと、生徒が一丸となって頑張りました。

今年度も昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の予防対策のため、例年、見に来ていただいていた来賓の方や地域の皆様についてはご招待を見合わせ、生徒のご家族の方だけをご招待して実施しました。また、感染防止のため、身体的距離の確保、マスクの着用、手洗いや用具の消毒の他、日々の健康観察、行動記録についても徹底し、デルタ株感染拡大防止集中対策の期間中であつたため、感染対策については昨年度より厳しいものとなりました。そして、競技時間の短縮や競技人数を減らすなど、競技を見直し、規模を縮小して行うことになりました。

生徒は、赤・白・青の3組に分かれて対戦、入場行進の後の最初の競技、100m走から熱戦が繰り広げられました。100m走の後は台風の目、5色綱奪い、チームワークや息のあったプレーが求められる競技が続く、一瞬も目が離せない白熱した対戦でした。続いて、色別学年競技は新種目での学年別の戦いとなりました。1年生は距離別リレーで健脚を競い、2年生は椅子取りゲームで作戦と運が勝負を分け、3年生は障害物リレーでダンボール運びやクルクルバットなど色々な障害に苦戦しながら力走しました。借り物競争は生徒と教職員の仲の良さが窺える競技でした。その次の部活動行進・リレーでは、ユニフォームに身を包んだ選手が部の名誉をかけて、一心不乱に走る姿が見られました。終盤に入り、北高ならではのサッカーのPK戦が行われた後、体育祭のハイ

ライト、応援合戦が繰り広げられました。全員がマスクを付けての応援合戦でしたが、各組ともに、団長のリーダーシップの下、練習を積み重ね、勝利をめざして臨みました。結果は僅差で青組が勝利を収めましたが、各組とも息のあった演技を披露し、観客の目を楽しませてくれました。最後は選抜リレー、泣いても笑っても競技はこれで最後、選手の力走に全ての生徒が声援を送りました。

総合優勝は、応援合戦も制した青組が獲得しました。充実感と達成感に輝く生徒たちの笑顔が印象的で、最初から最後まで全力で一心不乱に競技に取り組む生徒の姿は、見ている私たちを自然に感動させる、そして元気にさせる素晴らしい体育祭でした。

体育祭の最後、下関北高校の校歌は演奏のみとなりましたが、生徒たちの心の声が届くようでした。物事に真剣に取り組み、全力を尽くして頑張る姿勢は、北高生が誇れる強みであると思いました。保護者の皆様、ご声援ありがとうございました。



地域探究Ⅰ・Ⅱ「歴史・伝統」グループの活動紹介

現在、豊北歴史民俗資料館では「人と郷土」をテーマに、「記念碑に刻まれた人々」について、豊北をひらいた人々に焦点をあて、どのような思いや考えをもち「郷土」に尽くしてきたかを考える企画展が開かれています。本校の地域探究の「歴史・伝統」グループでは、豊北歴史民俗資料館の方のご指導で7月に中山太一顕彰碑や烈婦登波の碑の調査を実施し、本日は企画展の展示物一つひとつの前で、学芸員の安田豊様に

豊北町の「産業」「教育」「文化」の礎を築いた人の歴史について丁寧に解説をしていただきました。豊北町内にある21の記念碑について説明を受けることで、新しい時代の「人」や「郷土」を築いていく何らかのヒントや契機になればと考えています。「歴史・伝統」グループの今学期の目標は地図づくり(中山太一が残したもの)、豊北の祭り行事の調査(滝部八幡宮の祭り、市守神社の祭り、亥の子祭り、お大師祭り、庚神様の祭り)などとなっています。来週もフィールドワークを予定しており、中山太一の足跡を辿ることとしています。

